

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和6年度長期就農研修 研修風景（7月分）

各研修生の研修状況及び勉強になったこと（次回は改善したいこと）、農作業中のヒヤリハット等を共有しました！

1 加藤憲子 氏

- ・実際にキュウリを栽培してみて、次年度はこうしたい、という点がいくつもある。例えばキュウリの摘心は、自分の手が届く範囲までにしないと、作業がしづらいことが分かった。
- ・農業中のヒヤリハットは、キュウリの実が自分の手が届かない範囲にあることから、脚立を使用している。通路が平坦ではないことから脚立がグラグラと動くので、非常に危ないと感じながら作業を行っている。また通路幅が狭いので、作業がしにくい。次は摘心のタイミングや通路の幅、株間など、今回学んだことを次につなげていきたい。

右写真：キュウリの研修状況を報告する様子



2 神田 氏

- ・ 茎ブロッコリーにアブラムシ及びカメムシ類が発生したため、殺虫剤を散布しているが、アブラムシは葉の裏や生長点など、農薬がかかりにくい場所に存在しているため、徹底した防除が難しい。
- ・ カメムシ類対策として、YouTubeで勉強しカメムシ類の捕殺器を自作したが、あまり効果はないことが分かった。
- ・ 以上のことから、次は（アブラムシ類の侵入も防ぐことができる）防虫ネットを使用したい。



左写真：神田さんの茎ブロッコリーほ場にて

3 高久 氏

- ・ 秋ブロッコリー収穫に向け、は種作業を行った。現在育苗中。勉強になったのは、手間はかかるが、かん水はホースを手で持って行うのが、理にかなっていることである。今回その手間を省略するため、灌水チューブ1本をハウスの中心に置くことで省力化を図ったが、水が均一に行き渡らないため、生育に差が出ている。次回はきちんとホースを手で持って、丁寧にかん水したい。

右写真：ブロッコリーのは種作業を親子で行う様子



4 高久哲也 氏

- ・ブロッコリーの収穫作業が終了し、ニンジンは種に向け、一度ほ場を耕うんした。
- ・命に関わる危険な暑さが続いているので、熱中症予防の観点から、作業時間や内容は、その都度考えながら作業を組み立てている。



左写真：高久哲也氏の露地ほ場にて

5 松井啓喜 氏

- ・有機農産物に特化したマルシェに参加させてもらった。そこで人とのつながりができ、今度自身のほ場を案内することとなった。
- ・草の生長が早く、除草作業が間に合わないこともあるが、二本松市で開催された不耕起栽培に関する勉強会に自主的に参加するなど、着実に勉強できている。
- ・農作業中のヒヤリハットは、（自身が所有している）水田の除草は鎌を使っているが、疲れてきたタイミングで、鎌で自身の指を切ってしまった。素手で行っていたため、次回は休憩しながらはもちろん、手袋の着用も検討したい。

右写真：夫婦でナスの定植を行う様子



6 橋本蒼士 氏

- ・ミニトマトで勉強になったのは、品種の選択である。始めはよく分からず、赤色の他、緑色や黄色、茶色のものを定植した。収穫の段階となり、赤色の収穫は迷わなかったが、その他の色はどのタイミングで収穫すべきか、非常に判断が難しい。実際に食べたが、よく分からない。また、黄色のミニトマトにはアザミウマが集中した。次作は赤色一本にしたい。
- ・ナスで勉強になったのは、定植の株数である。収穫が始まると、思いの外豊作となり、収穫が忙しい。また他の作業も行いたい、ナスの収穫に時間をとられ、思い通りにいかない。この経験を次につなげたい。



左写真：橋本氏のミニトマト

右写真：ナスの仕立て方について、職員へ相談する様子



「ふくのう」インスタグラムもご覧ください！

『福島県で農業しよう！「ふくのう」福島県 農業経営・就農支援ポータルサイト』の公式インスタグラムでは、長期就農研修生の研修風景も随時更新されております。こちらもぜひご覧ください！

https://www.instagram.com/fukunou_official?igsh=MWgxNWlzcG5vZjFuMg==